

◆生育状況について

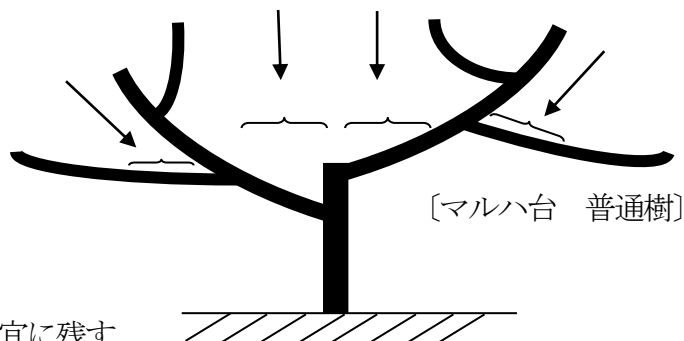
果実肥大は平年並みからやや大きい。高温により、日焼けが発生やシンクイムシ被害が目立つ。

◆当面する重点作業について

1. 見直し摘果を実施し、品質向上を図る。
2. 土壌が乾燥すると果実肥大への影響や日焼けを助長するため、かん水や葉面散布などの対策を実施する。また、草丈を長すぎず、短くしすぎないようにする。また、多雨による根痛み対策として、排水対策に努める。
3. 徒長枝切り、支柱立てを行い、受光体制、薬剤の掛かりやすい、風通しのよい状態にする。
なお日焼対策として、葉摘みや支柱立ては、果実温が十分に上がった午後から実施すると共に、徒長枝の切りすぎ、葉の摘みすぎに注意する。
4. 鳥害・ヤガ対策を行う。※果樹総合情報No.6参照。
5. 中生種への落果防止剤の散布と、樹相に合わせた中生種の着色管理を行う。
6. ナミハダニの発生予防、作業効率を上げるために園地の除草(刈取り)を実施、雑草対策をする。
7. 降雨続く、降雨時間が長い場合は、炭疽病などの発生が心配される。また、スモモヒメシンクイ対策を含め、薬剤散布は散布間隔に注意し、適期に薬剤散布を実施する。炭そ病の果実病斑が見られたら、早急に、採って土中に埋める。
8. 早生種の収穫を食味確認し、未熟、過熟ならないよう適期に行う。

◆新梢管理について

1. 主枝、亜主枝や側枝基部の徒長枝（新梢）は全部欠き取るのではなく、30cmに1本位で千鳥に残す。
⇒ 計画的に切り（欠き）取る。
2. 着果不足で樹勢の強い樹は、徒長枝をこの時期切らずに無駄な養分を発散させる。
お盆の頃に切り取る。
3. 殺ダニ剤散布に合わせ、徒長枝（新梢）の処分をする。⇒ 30cmに1本位ずつ千鳥で適宜に残す。
4. 図の矢印部分（主枝・亜主枝の基部）の新梢は強くなりやすいので欠き取る。



◆品質向上・カルシウム欠乏対策について

品質向上やビターピット・ジョナサンスポット、コルクスポット等カルシウム欠乏対策として、必要に応じて、下記葉面散布肥料を散布する。

- 1. 使用時期：第12回薬剤散布に混用使用（単用使用してもよい）
- 2. 使用資材：調合量1000当り

【品質向上対策】

資材名	使用倍率	調合量
オルガミン	1,000倍	100ml
ケルパック66	5,000倍	20g
友果	500～1,000倍	200～100g



【カルシウム欠乏対策】

資材名	使用倍率	調合量
スイカル	1,000倍	100g
カルビタ	1,000倍	100g
ストピットII	500倍	200g
カルタス	500～1,000倍	200～100g

◆第12回薬剤散布について

- 1. 散布時期：8月19日（水）～23日（日）

実際散布月日 月 日
- 2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000当り・10a当り散布量：5000以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	—
ⓂイカズチWDG	1,500倍	66g	前日	シンクイムシ類・ハマキムシ類
アリエッティC水和剤	800倍	125g	前日	黒星病・斑点落葉病・すす斑病・すす点病・褐斑病

3. 散布上の留意事項

- 1) 果面の汚れ軽減のため、通常展着剤に代えて、展着剤ササラ2,000倍（水1000当たり50ml）又はスカッシュ1,000倍（水1000当たり100ml）を使用してもよい。
- 2) イカズチWDGに代えて、アーデントフロアブル2,000倍（水1000当たり50ml）又はⓂテルスターフロアブル3,000倍（水1000当たり33ml）又はⓂロディー水和剤1,000倍（水1000当たり100g）を使用してもよい。
その際、必ずフロアブル剤を溶かしきってから、アリエッティC水和剤を混用する。
- 3) ハダニ類発生が多い場合は、ダニオーテフロアブル2,000倍（水1000当たり50ml）を加用散布してもよい。ただし、散布前後にキノンドーなど銅剤の散布を行なわない。また、混用できない。

◆心かび果（心腐れ果）対策について

シナノドルチェは、心かび病の発生が多い。収穫前での対策として、樹上での選果・除去が必要となる。シナノドルチェは8月中旬頃を目安に実施する。大玉の果実を中心に着色が著しく進んでいる果実・地色の黄化が早い果実は、樹上で除去する。

◆中生種落果防止・軟質果防止剤の散布について

【ストッポール液剤】の場合

1. 散布時期・使用薬剤（展着剤不要）

※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：400～500ℓ以上・収穫前25～7日前

対象品種	使用倍率	調合量	散布時期目安	実際散布日
シナノドルチェ	1,500倍	66mℓ	収穫開始予定日の15日前頃 8月14日（金）～8月19日（水）頃	月 日
紅 玉	1,200倍	83mℓ	収穫開始予定日の25日前頃 8月20日（木）～8月26日（水）頃	月 日
秋 映	1,200倍	83mℓ	収穫開始予定日の25日前頃 8月26日（水）～8月31日（月）頃	月 日

【ヒオモン水溶剤】の場合

1. 散布時期・使用薬剤（展着剤不要）

※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：400ℓ以上・収穫前25～4日前

対象品種	使用倍率	調合量	散布時期目安	実際散布日
シナノドルチェ	1,000倍	100 mℓ	収穫開始予定日の7日前頃 8月22日（土）頃	月 日
紅 玉	1,000倍	100 mℓ	収穫開始予定日の14日前頃 8月31日（月）～9月8日（火）頃	月 日
秋 映	1,000倍	100 mℓ	収穫開始予定日の14～7日前頃 9月8日（火）～9月15日（火）頃	月 日

2. 散布上の留意点

- 1) 品質向上のための葉面散布肥料は、事例が無いため小試験（ストッポール液剤項を参考にする）を実施するか、使用しない。
- 2) ストッポール液剤と異なり、着色増進効果は期待できない。硬度の影響は年の条件によって異なる。熟度促進は、ないあるいはやや進む程度。
落果防止効果の継続は、短くなる事が推察され、本格的な落果が始まると、続くため収穫を急ぐ。
散布から30日以上経過した場合、落果が多くなる場合がある。